

安佐医師会サーベイランス週報 第15週 平成30年4月9日(月)～平成30年4月15日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメ ン ト
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	26定点		
	対 象 人 口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1	389,882名		
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1			
1	RSウイルス感染症	1				1	1				3	↑	<p>【第15週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>★安佐地区：ロタ、ヒトメタニューモ 小児の報告が多い</p> <p>1. RSウイルス感染症：2→3件 2. 咽頭結膜熱：1→5件 3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：21→21件 4. 感染性胃腸炎：187→187件 Yこどもクリニック 6件うちロタ4件 K医院 7件うちノロ1件 Dクリニック 19件うちロタ7件</p> <p>12. インフルエンザ：A型 27→10件 B型 11→4件</p> <p>22. その他：ヒトメタニューモ7件 ・・・K医院 5件、T小児科 1件、安佐市民 1件</p> <p><安佐地区感染性胃腸炎の推移></p> <p>・3週連続で、数年で最も多い ・ロタの報告多い・・・全国的にも、広島市内も</p> <p><安佐地区 インフル報告数の推移></p> <p>・ほぼ終息状態！</p> <p>【ヒトメタニューモ、安佐地区7件】 ・幼児期に初感染、その後、生涯にわたり何度もかかる ・感染細胞は鼻腔・咽頭粘膜 ・成人：軽症が多い。風邪の2～4% 平均38度、鼻、咽頭痛、嘔声、咳 介護を要する高齢者など、成人より症状が重い</p>
2	咽頭結膜熱	1					4				5	↑	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8				8				21	→	
4	感染性胃腸炎	59	25	19	8	28	44	2	2		187	→	
5	水痘												
6	手足口病												
7	伝染性紅斑												
8	突発性発しん	1				1	1				3	↓	
9	百日せき												
10	ヘルパンギーナ	1									1	↑	
11	流行性耳下腺炎	3	1								4	→	
12-A	インフルエンザ（A型）			1		7	1			1	10	↓	
12-B	インフルエンザ（B型）	1				2	1				4	↓	
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		5			1					6	↑	
15	麻しん												
16	風しん												
17	MCLS（川崎病）												
18	髄膜炎（細菌性）												
19	髄膜炎（無菌性）												
20	マイコプラズマ肺炎			1							1	↑	
21	クラミジア肺炎												
22	その他					5	1			1	7	↑	
合計		72	39	21	8	45	61	2	2	2	252		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イットコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります！

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症（O157、26、など）、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

【ヒトメタニューモ、安佐地区7件】

- ・幼児期に初感染、その後、生涯にわたり何度もかかる
- ・感染細胞は鼻腔・咽頭粘膜
- ・成人：軽症が多い。風邪の2～4%
平均38度、鼻、咽頭痛、嘔声、咳
介護を要する高齢者など、成人より症状が重い